

# 大分市(九州・沖縄ブロック)

中世～: 大友氏の時代に「豊後府内」と呼ばれるようになり、近世では、府内城を中心に城下町が建設され、現在の大分市の中心部となる。  
 昭和～: 戦災を受けたが、復興後の区画割りもかつての城下町の面影を残す基盤目状となっている。かつて路面電車が走っていた市道中央通り線は現在もバス路線が集中するなどこの路線を中心に様々な機能が集積し発展してきた。

【2期 計画期間 25年4月～30年3月】

## 【1期計画の概要】

- 連続立体交差事業に合わせて中心市街地の南側を文化地域として役割を担わせることにより、南北が一体となる賑わい創出を目指す。
- 地元資本の百貨店を核として周辺の商店街等と連携した活性化事業を行うことで、中心市街地の活性化を図るための各取組を実施。

## 【中心市街地の変化】

- 大型店の相次ぐ撤退により、拠点としての賑わいが失われていく。テナント誘致等の各取組を実施するも活性化の効果は限定的。
- 小売業年間販売額や歩行者通行量が一貫して減少。都市機能を中心市街地に集積させて魅力を高め、賑わいを取り戻す必要がある。

## 【目指す中心市街地像】

- 大型施設の賑わいをまちに波及させるべく、地域資源を活用・連携することで魅力あふれる街を形成し、大分市から大分県全域の賑わいを創出する。

## 【1期計画の目標】

目標	指標	基準値(H18)	目標値(H24)	現況値(H23)
こだわりに出会える価値観の高い商業の再生	小売業年間商品販売額	872億円(H16)	880億円	804億円
安心・安全に回遊できるひと中心のまち創出	歩行者通行量(土・日の合計)	326,833人	350,000人	291,535人
街なかで過ごすライフスタイルを提案するまち創出	まちなか滞留時間(3時間以上の割合)	37.4%	40.0%	32.2%

## 【2期計画の目標】

目標	指標	基準値(H23)	目標値(H29)
激変する商業環境へのエリアマネジメントによる経営戦略の構築	小売業年間商品販売額	804億円	880億円
変化するまちと既存ストックの連続性による魅力の向上	歩行者通行量(土・日の合計)	291,535人	350,000人
コミュニティ連携による新たな賑わいのスキーム構築	まちなか滞留時間(3時間以上の割合)	32.2%	40.0%

■激変する商業環境へのエリアマネジメントによる経営戦略の構築

⇒ ①JR大分駅ビル事業、②中央通りの人優先空間の再構築事業 など

■変化するまちと既存ストックの連続性による魅力の向上

⇒ ③シンボルロード整備事業、④大分県立美術館整備事業 など

■コミュニティ連携による新たな賑わいのスキーム構築

⇒ ⑤ガレリアドーム広場の整備事業、⑥大分駅北口駅前広場整備事業、⑦ホルトホール大分整備事業、⑧マッチクリエイトの活動によるにぎわい など

# 大分市中心市街地活性化基本計画の事業概要

激変する商業環境へのエリアマネジメントによる経営戦略の構築

中心市街地(153ha)

## ① JR大分駅ビル整備事業

中心市街地の新たな集客の重要拠点として、大分駅の隣接地に、**商業施設、温浴施設、シネマコンプレックス**などの大規模集客施設を整備する。



## ② 中央通りの人優先空間の再構築事業

中心市街地の東西交流の円滑化や中心市街地を楽しく回遊できる魅力ある空間形成のために、**人を中心とした安心・安全・快適な歩行者優先空間の再整備**を図る。



変化するまちと既存ストックの連続性による魅力の向上

## ③ シンボルロード整備事業

人中心の安心・安全空間や魅力・憩い空間を創出するために、道路の幅員100mのうち、70m以上を歩道(緑地)空間に整備する。



## ④ 大分県立美術館整備事業

大分県の芸術・文化の拠点として、**中心市街地に県立美術館を移設**することにより、アートでの賑わいを創出する。



コミュニティ連携による新たな賑わいのスキーム構築

## ⑤ ガレリアドーム広場の改修事業

商業機能と連携した多様な都市機能の魅力・賑わい空間を再生するために、**中央通りに面したイベント空間の有効活用**として、**ガレリアドーム広場を改修**し、イベント広場の活用を更に活発化させる。



## ⑥ 大分駅北口駅前広場整備事業 大分駅南土地区画整備事業

中心市街地の南北市街地の一体化を図り、質の高い良好な市街地環境の整備と高次都市施設を有する施設群を配置するとともに、**都心居住の推進**を図るために、**公共施設整備や都市型住宅地の整備**を行う。

人の導線

## ⑦ ホルトホール大分整備事業

市民、団体、企業、大学等が活用するさまざまな交流の場として、**屋上公園、市民ホール・会議室、総合社会福祉保健センター、市民図書館**など、**中心市街地の複合的文化交流施設を整備**する。



## ⑧ マッチクリエイトの活動によるにぎわい

大分市のイベント推進組織である「中心市街地イベントコミュニティ連携組織マッチクリエイト」において、**中心市街地で多くの活動団体が様々な活動を行うことについて、実施・調整を図り、コミュニティ連携による戦略的で活発な市民活動やイベントの実施**を行う。